

洋書輸入協会会報

VOL. 15

NO. 6

(通巻170号) 昭和56年 6 月

理 事 会 報 告

4 月27日(月)

(一) 三洋出版貿易株式会社の件

鈴木常夫氏の逝去に伴い、同社から理事辞任の意向が示されたが、個人ではなく、会社が理事に選任されているのであるから、留任を要請することとなった。

(二) 事務局長の件

事務局長が理事会に出席し、必要な報告・発言をおこなうとともに、議事録の作成にあたることとなった。

(三) 賛助会員の件

販売活動をおこなっている賛助会員には正会員となるよう要請することとした。普通会员となった賛助会員からは入会金(2万円)を徴収することも決定した。

(四) 新入会員の承認

株式会社ニュートリノ(港区赤坂8-4-7 カームビル 電話405-6137 代表者:山本義朗)および太陽洋書株式会社(千代田区神田和泉町1-1 同和ビル 電話866-9897 代表者:成瀬功)の入会を承認した。

(五) 定時総会の件

関西支部の55年度決算および56年度予算案についての報告をうけた。また56年度の活動においては、とくに企画・文教両委員会の活動を重視することとし、56年度活動方針の中でそれを明らかにすることとなった。

(六) その他

5 月12日(火)

(一) 三洋出版貿易株式会社の件

同社の武田全弘氏から同社の理事留任につき、挨拶があった。

(二) 4 月分収支計算の審議

総務委員会の報告を承認した。

(三) 56年度定時総会の件

同日の総会の運営について打合せた。

(四) 留宅番電話の件

総務委員会の提案に基づき、事務局に留守番電話を設置することとなった。

(五) BDC ミッションの件

6 月に来日する同ミッションから JBIA と話しあいたいテーマについて連絡してきたので、こんど検討することとなった。

理事会報告..... 1	ニュース..... 4	米国国際郵便料金の値上げについて 6
定時総会報告..... 2	Book Review 5	来日外人名簿..... 6
外国出版社紹介..... 3 ~ 4	総代理店ご案内..... 5	海外ニュース..... 7
		広 告..... 8

定 時 総 会 報 告

昭和56年度定時総会は5月12日(火)3時から5時まで学生会館(本郷)において開催された。

定刻、司会者栗原光輝氏(洋販)の開会の辞ののち、柴田事務局長から正会員91社のうち、出席39社(その後さらに6社が出席)、委任状提出34社、合計73社で総会が成立した旨の報告があった。賛助会員の出席は7社であった。恒例により新会員の紹介にうつり、株式会社フジ・コーポレーション(代表者・河原崎 元氏)、エイビス・ブックセールス株式会社(同・尾崎 清氏)、大洋交易株式会社(同・和田 茂氏)、株式会社ニュートリノ(同・山本義朗氏)、太陽洋書株式会社(同・成瀬 功氏)、株式会社アカデミック・プレス・ジャパン(同・皆川純一郎氏)、株式会社リージェンツ出版社(同・小野照男氏)、ハーコート・プレイス・ジョバノビッチ出版社(同・市川 温氏)、以上8社が紹介された。

ついで自己紹介ののち、理事長代理、福田忠氏(丸善)の提唱で故鈴木常夫氏(三洋出版貿易、前社長)のご冥福を祈って黙禱が捧げられたのち、同氏から大要次のような挨拶があった。

「第2次石油危機以来、世界的に、需要の後退、インフレ昂進など、経済情勢が悪化した。強いと見られていたドイツ経済の基盤がゆるみはじめたことが深刻さを示している。我が国では、昨年度国債発行の減額、インフレ防止、公定歩合引き下げによる景気刺激などの政策がとられ、比較的に安定した推移を示したものの後半に需要の減退が現われた。

洋書業界も、昨年前半は好調であったが、後半は低滞した。円高による価格低下もあって、各社とも苦勞されたことと思う。

昨年の洋書・外雑の輸入は通関統計が示す通り、金額では対前年109%、数量では88%と落ち込んだ。百科辞典の大幅な輸入減の影響が大きいと考えられるが、洋書市場の厳しさを強く印象づけている。厳しい営業環境と、一部国立大学のコンピューター処理への協力要請および海外取次企業の動向に予断が許されぬ状況の中で、企業の存続と繁栄に向けてどのような道を選択してゆくべきか、対応策を講じてゆくことが肝要。事務局の強化、各委員会、特に企画渉外、文教委員会の事態に即した常時研究体制、研習会、講演会の開催など、会員にメリット

のある活動を進めたい。業界の使命である文化的役割りを全うし、協会の発展を図るよう会員各位のご協力をお願いする。」

福田理事長代理はついで理事会の活動について、55年度は定例および臨時理事会を合計22回開催し、各委員会と緊密な連携のもとに協会の諸活動を円滑ならしむよう努力したことを報告、詳細は「会報の理事会報告」およびついでおこなわれる各委員会の報告にゆづった。

ついで委員会報告にうつり、総務(丸善・大脇氏)、会報(極東書店・一條氏)、企画渉外(U. S.—Asiatic・山川氏)、ダイレクトリー(東光堂書店・石内氏)、洋書交換(国際書房・服部氏)、雑誌(日本出版貿易・北島氏)、文教(紀伊國屋書店・吉本氏)、通関(洋販・栗原氏)、文化厚生(三洋出版貿易・武田氏)各委員長から、それぞれの一年間の活動と今後の課題についての報告があった。

ついで昭和55年度決算報告が大脇氏によりなされ、佐野氏(南江堂)の監査報告ののち、拍手で可決、承認された。

ついで大脇氏から昨年度定時総会で提案されたAB会員の一本化、および協会活動に対する協力要請の主旨での会費一部改正案、つづいて昭和56年度予算案が提案され、いずれも拍手で可決、承認された。

ついで丹羽氏(緑書房)から関西支部報告、昭和55年度決算報告および昭和56年度予算が提案され、拍手で可決、承認された。

以上の議事が終了したのち、総務委員会(丸善・大脇氏)から、準会員および販売活動をされている賛助会員の正会員への移行が要請され、山口氏(有隣社)より、洋書青年会の活動についての説明と同会に対する洋書輸入協会会員の協力が求められた。

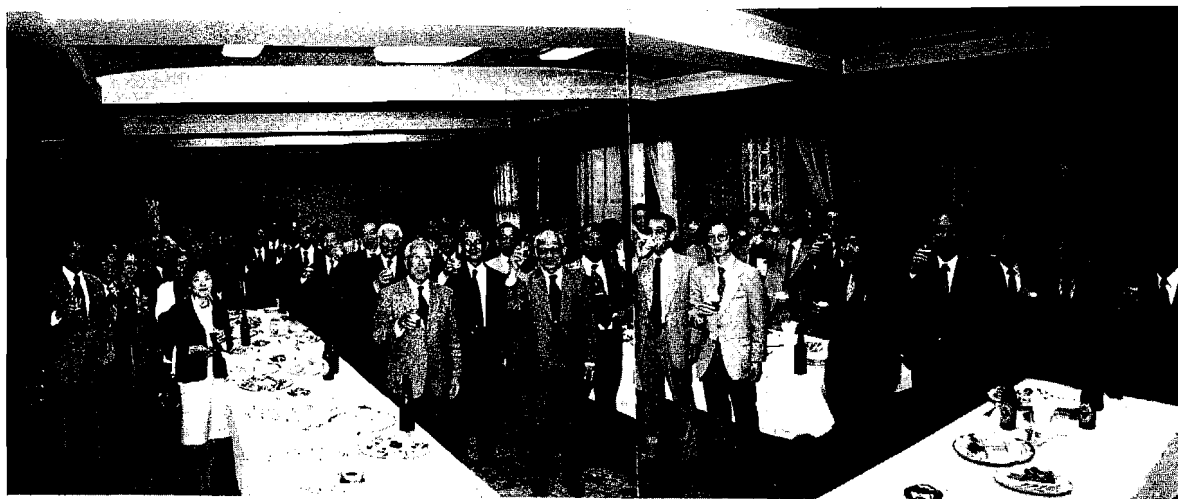
さいごに、相良氏(紀伊國屋書店)が閉会の挨拶にたち、「ドイツ経済のかげりの原因の一つは、コンピューター化の遅れにあると言われている。日本ではコンピューター産業は発達しているが、洋書業界はまだまだの状態である。

コンピューター化が看板の外国取次業者の日本ユーザーに対する案内状送付、一部国立大学の電算機処理への協力要請など、コンピューター化は世界の大勢で避け

られぬ問題であり、システム化について検討する時期であろう。各社で規格化出来るもの、お互に利用出来るものはないかなど、企画渉外委員会にて取り上げて研究して頂ければ幸いである。長時間の討議に感謝する。」旨をの

べ、総会をとじた。

5時30分から恒例の懇親パーティーにうつり、東光堂書店石内氏の首領で乾盃ののち宴を開き、歓談のひとときをすごした。



外国出版社紹介 No.80

SIPRI (Stochholm International Peace Research Institute) Sveavägen 166, S—113 46 Stockholm, Sweden.

ストックホルム国際平和研究所は、スウェーデンの150年にわたる非戦の歴史を記念して、当時のスウェーデン首相エルランダーの提唱のもとに議会の承認を経て、1966年7月1日に設立された。独立の財団であるが、費用はスウェーデン政府の予算によって主としてまかなわれている。

SIPRIの主たる目的は、規約第2条に定められている通り「国際平和と安全保障に関する重要問題について、科学的研究を行い、国際紛争の平和的解決と安定した平和の条件の理解に貢献すること」である。会長および7名のメンバーからなる運営理事会とその諮問機関で24名から成る科学評議会が運営を司どり、約40名から成る研究部門を動かしている。

運営委員会や研究部門の構成メンバーは、慎重に世界各国から優秀な学者、科学者を選んで集められており、国家の枠を越えた研究フォーラムとなっている。研究方針は現代が緊急に具体的解決を必要としている諸問題、とくに軍縮や兵器制限などを、現実的な立場

から調査、研究することに置かれている。

研究成果は、年鑑、単行本、レポートの形で刊行される。とくに「シプリ年鑑」(World Armaments and Disarmament: SIPRI Yearbook)は、一年間の世界の軍備、軍事支出、兵器貿易、平和維持や軍縮に関するデータや情報を提供し、この分野のバイブル的な存在となっている。単行本も、各種の兵器や査察の問題、宇宙や海洋の問題など多種多様であるが、きわめて実証的な調査・研究活動に裏打ちされており、第一級の資料となっている。

出版物は、1976年まではストックホルムの Almqvist & Wiksell International 社から出版、発売されていたが、1977年以降はロンドンの Tayler & Francis 社が出版・発売元となっている。

世界の平和の雲行きが何となく怪しくなりかけている今日、その研究活動と出版物は多くの期待と注目を集めている。

(N. I)

VEB Domowina-Verlag Bautzen, Tuchmacherstr,27

多民族国家ではいろいろな民族語による出版がおこなわれている。ソ連や中国がそうであり、アメリカやインドもその例にあげられるだろう。いうまでもなく、これらの国は多くの人口を擁している。しかし、人口1,700万というドイツ民主共和国（東ドイツ）にも少数民族がいて、そのための出版がおこなわれていることを知る人は稀であろう。ラウジッツ地方（上部と下部とにわかれる）に住み、独特の風俗と言語とほぼ1,000年の歴史をもつスラブ系のゾルベン人10万人がその少数民族であり、ドレスデンの東約40キロのパウツェンにあるドモヴィーナ出版社がそのための国営出版社である。10万人という少ない人口のための出版社というのは、恐らく世界でも稀有、或いは唯一の例であろうと思われる。（ベルリンのアカデミーとライプチヒの大学にそれぞれゾルベン研究所があることも注目に値する。）ゾルベン語はチェコ語、ポーランド語、ウクライナ語に近いそうである。学校でも初等4年まではゾルベン語をつかい、そのあとはドイツ語を勉強する。ゾルベン人の民住地域では、道標も銀行の中の掲示も、すべてドイツ語とゾルベン語とで表示されている。

Domowina というのはゾルベン語の詩語で「故郷」の意であるが、ラウジッツ地方ゾルベン人同盟の名称となっている。これがドイツ民主共和国内のゾルベン

人の唯一の民族的大衆の組織である。1912年に組織され、ゾルベン人の権利と文化を守るために活動してきたが、ナチ時代1937年に禁示され、1945年に再建された。この出版社が設立されたのは1958年である。

10万人といえども一民族を対象に出版するのであるから、この出版社の分野はひろい。ゾルベン語では、現代文学、民族遺産、翻訳、少年・児童文学、画集、学術書・啓蒙書では歴史、言語、文学、民俗学など、それに教科書、カレンダー、新聞、雑誌を出版している。ドイツ語では、主として、ゾルベン人の民族遺産、児童文学、画集、ゾルベン人の歴史と現状、言語について出版している。とくにチェコスロバキア、ポーランド、ソ連、ユーゴスラビアの出版社との提携関係が深いのは、政治上の原因のみではなく、言語の関係からくるのであろう。出版物の例を若干あげてみよう。文学遺産では、Jakub Bart-Ćiżewski の全集(14巻)、外国文学の翻訳では、トルストイ、ディケンズ、ステューブンソン、レスコフ、ネルーダ、モーパッサン、ドストエフスキーなど、学術書では、「ゾルベン史」(4巻)、「ゾルベン語言語地図」「上部・下部ゾルベン語歴史的・語原的辞典」が目立つ。ここでは上部ゾルベン語の日刊紙と下部ゾルベン語の週刊誌、福音教会とカトリックの雑誌も発行している。

(M.I)

ニュース

洋書青年会の講演会

去る5月21日(神保町の学士会館)に於いて午後6時30分より9時迄、洋書青年会主催により第三回講演会が開かれました。講師には国際連合大学学術情報局長兼出版部長の箕輪成男氏が招かれ、「科学技術情報の伝達」をテーマにご自分の経験を含めて興味深いお話をされました。当日は約70人の参加者が最後まで熱心に耳を傾けメモをとっていました。

由里（トッパン）記

テニスの集い

昨年の東西合同懇親旅行の折りに実現いたしましたテニス愛好家の集りが今年も5月23、24日の両日天城東急ホテルにて行われました。

急な企画で心配されましたが、それでも昨年と同じく15名（うち女性6名）の参加者を集めることができ初日はレッスン、2日目は試合と初心者の方々もそれなりに楽しめたと思います。今後もこの集りを広げていきたいと思しますので同好の諸氏ご連絡下さい。

村上（マイブックサービス）記

Book Review No.77

American Library Association.

Conservation of Library Materials: Library Technology Program, No. 16:

Cleaning and Preserving Bindings and Related Materials. Second ed., rev. By Carolyn Horton

xx, 87 pp., with 51 illus. 28 x 21 cm. (ca ¥1,000)

.....No. 18:

The Restoration of Leather Bindings. By B. C.

Watson. xix, 201 pp., with 93 illus. 28 x 21 cm. (ca ¥2,500)

L. A.と書けば The Library Association を意味し、すなわち、1877年創立のイギリス図書館協会のことである。A. L. A.のアプレビエーションは American Library Association のことで、1876年創立のアメリカ図書館協会をさす。常識的には、イギリスの方が早い創立と思われ勝ちであるが、後輩国の方が図書館事業の諸々は、一足お先に発達発展していたのである。この図書館界の同志糾合も、アメリカの方が、母国に先がけておる。この当時アメリカ図書館界には、A. L. A. 創立発起人の一人 Melvil Dewey (1851—1931) のような新進が出てきて、丁度このころ、デシマル・クラシフィケーション、つまり万有の知識を10(数字0から9)の間に分類(分割)したのを発表出版した。それは、1876年のことであった。以来、A. L. A.の手で改版を重ねてきた Dewey 創案の Decimal Classification の全世界の図書館界、書籍業界に与えた影響など、今更に云々喋る必要は全くないことであろうほどに、斯界に恩沢をほどこしていること周知の如くである。この代表的一事項を以っても判るように A. L. A.はこの一世紀以上にわたって、世界の図書館界をリードするような事

例に、ことかかないほどの貢献が多い。

このたび発表出版された、Library Technology Program のセリースなどもひとり図書館人のみならず、書物関係者全般の好参考書と言ってよいと思う。

革製本、ことにカーフ(犢皮)の表紙本は、かびが生えたり、また乾燥すると表皮がむけたりして、始末がわるく、茶褐色の粉がとび衣服をよごしたりして、困ることが多い。また、背中(バック)の部分がポッカリと取れてしまう。背バンドが傷む、綴じの麻糸が切れる。端ぎれ(ヘッドバン)がぶらさがっている。こうした条件の革装の本は、しばしば見るところである。この文の筆者なども、ときにその処置のど相談に与ることもある。わが国の気候では、この革製本は難物である。こうしたとき、どうしたら適切な処置、修理・回復の手段がとれるか、といったことの答が本書である。皮革のほか、クロス(布製本)その他についても書かれている。反りかえったベラム装の直し方、蔵書票の貼・脱のことなどもある。前書は製本とその関連材質の保持・整備、後者は皮革製本の修復処置などの臨床書である。併載の術語集は意外に役立つ語彙と解釈である。また、大きな図解と写真挿絵は、簡明な記述と相俟って、ますます本書を好参資としている。

大体はアメリカ・ヨーロッパの図書館人向きに記述されているのは勿論だが、気候のちがっているわが国の書物関係者にも充分参考になること、従来の A. L. A.発行のレفرنスブックスのごとくである。

A. L. A.の次の企画の出版物が楽しみである。

(Y)

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

丸

善俣

☎272-7211

Thomson, J. P. S., R. J. Nicholls & C. B. Williams, (eds.)-Colorectal Disease: an introduction for surgeons and physicians. (W. Heinemann Medical Books)ca. ¥10,200

Cove, H. & W. L. Wolfson.-Surgical Pathology of the Endometrium, (Lippincott)ca. ¥12,040

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

☎262-5278

Comprehensive Organometallic Chemistry. The Synthesis, Reactions and Structures of Organometallic Compounds. 6 vols. (Pergamon Press)ca. ¥450,000

米国国際郵便料金の値上げについて

さきに4月30日付JBIA報No.346により「米国国際郵便料金の新料金」に関する詳細なリストが、事務局より会員各位に送付された。

会報では、その中から、我々の日常の仕事に関係のありそうな点を二、三とらえて、ここに列記してみることにする。なお、日本の郵便料金との対比や、我々の理解に便利のように、重量・料金を、メートル法・円に換算したことをお断りしておく。(1オンス=28.35グラム。1ポンド=453.6グラム。\$1=220円。)

(1) 航空郵便料金

全ての印刷物や、小形包装物に適用される料金は、我々の仕事にも関係が深い。

おおまかに云って、100gr.までは10gr.あたり¥45、それ以上は¥30、とみてよからう。ポケットブック1冊、風袋とも300gr.のものは、約¥900が正味送料となる。ハードカバーの1.5kgのものとなると、約¥4,500かかることになる。

日本のそれと対比してみると、100gr.の印刷物が、日本¥400/米国¥590。500gr.の小形包装物が、日本¥1,280/米国¥1,470となり、米国の方がやや高い。しかし、書状は、10gr.のもの、日¥120/米¥88。葉書は、日¥80/米¥62。航空書簡にいたっては、日¥100/米¥66、と日本の方がはるかに割高となっている。

(2) 小包郵便料金

航空便扱いの、100gr.あたりの料金をチェックしてみると、500gr.—1kgの圏内は、約¥400—500であるが、2kg—3kgとなると、大体¥300となる。つまり、3kgの小包の航空郵送料は、概算¥9,000ということになる。ちなみに、印刷物扱いと、小包扱いを対比してみると、

(重量)	(印刷物扱い)	(小包扱い)
0.5 kg	¥1,400	¥2,300
1 "	¥2,700	¥3,500
2 "	¥5,400	¥6,000
3 "	¥7,800	¥8,400

となり、印刷物(又は小形包装物)扱いの方がやや安いことが判る。

(3) 船便郵便料金

郵便料金の値上げは、定期刊行物については、当然価格に影響してくる。書籍の場合は従来の慣習から、それをコストに吸収しているの、コスト増となり、我々にとっては頭の痛いところである。

国際郵便料金は、今回の米国の値上げにひき続き、欧州諸国も値上げの予定とのことであるが、情報を入手次第、会報誌上、或はJBIA報でお知らせすることにする。

(会報委—K.S.)

来日外人名簿

4月上旬 Mr. John Beauchamp, International Sales Director, Random House, New York

4月下旬 Mr. Donald Traynor, Vice-President, Trade Sale,
Miss Alexandra Gordevitch, Sales Director-Far East, Feffer & Simons, New York

" Mr. Eric Baker, Export Sales Manager, David & Charles Pub., Newton Abbot

" Mr. Klaus Gerhard Saur, K. G. Saur Verlag, Muenhen

5月上旬 Mr. William C. Hitchcock, Marketing Manager, American Chemical Society,

Washington

" Mr. Ingar Tanum, Tanum Group, Oslo

" Mr. John D. Moore, Director, Columbia U. P., New York

5月中旬 Mr. Robert Machesney, Export Sales Manager, Macmillan Press Ltd., London

" Mr. Andrew McNally, IV, President, Mr. Russell L. Voisin, Vice-President, Rand McNally & Co., Chicago

" Mr. Michael Turner, Group Managing Director, Mr. Alan Miles, UK Managing Director, Associated Book Publishers Ltd., London

" Mr. Leo N. Albert, Chairman of the Board, Prentice-Hall, Englewood Cliffs

海外ニュース

「クラウド社ドイツから撤退」

Kraus Thomson Organization Ltd.の社長が発表したところによれば、同社は古書およびリプリント部門を統合し、もっぱらニューヨークのミルウッドで営業することになった。理由は、世界的な図書館予算のひっ迫と支社のコスト増である。

同社は、先にリヒテンシュタインのネンデルンの支社を解散し、西ドイツのミュンヘンをヨーロッパの拠点として人員、設備をつぎ込んできた。このミュンヘン支社のリプリント出版も予期したほどの業績を挙げることができず、管理費、人件費、諸経費の負担に堪えかねて、ミルウッドへの統合を決意するにいたった。

ミュンヘン支社は、1981年9月30日をもって閉鎖し、資産や著作権等はすべてアメリカの本社に移すことになった。ミュンヘンの支配人であるウルファ・フォン・デウ・シュタイネン女史は、今後とも同社に残るよう申し込まれているが、ミュンヘンの同僚とともに9月いっぱい退社する模様である。

その後クラウド社のヨーロッパでの活動は、同社のロンドン事務所を通じて継続されることになった。

(Börgerblatt 西独版、5月15日号より)

—紀伊國屋書店提供—

「ペンギン黒字に」

Pearson Longman Ltd.の1980年度決算結果が発表された。これによると同社の売り上げは226百万ポンドに増大したが、課税前利益は1979年の25.7百万ポンドから15.7百万ポンドに減少した。しかし、純益は15百万ポンドから14.6百万ポンドへと微減にとどまっている。

課税前利益の大幅減は、主として新聞・雑誌部門の利益減によるもので、書籍出版部門は、1979年の9.08百万ポンドから9.03百万ポンドへと前年並みである。

書籍出版部門は、次の三つに分けられる。Longmanは売り上げは38.5百万ポンドから45.7百万ポンドに増加、課税前利益は8.44百万ポンドから7.84百万ポンドへと僅かながら減少した。Ladybirdの売り上げは、5.5百万ポンドから5.9百万ポンドへと伸び、課税前利益は1.02百万ポンドから0.95百万ポンドへと落ちている。

問題のPenguinは、前年は赤字に転落して大騒ぎと

なったが、売り上げは27.7百万ポンドから36.1百万ポンドに上昇、課税前利益は381,000ポンドの赤字から242,000ポンドの黒字へと回復した。今年の第一四半期もまざまざ好調で、見通しは明るいとのこと。ただし、1980年の好調な数字はオーストラリア等海外市場によるもので、英国内では依然赤字とのことである。

(The Bookseller、5月9日号より)

—紀伊國屋書店提供—

「米国出版社の売上高」

BISG (Book Industry Study Group) が発表した統計によれば、アメリカの出版社の1980年の総売上高は6,788,900,000ドルと推定される。これは1979年に対し11.9%の伸びである。しかし、販売部数は1,804,508,000部で、前年より2.8%しか伸びていない。つまり実質的には販売部数はほぼ前年並みで、単価の値上がり、売上げの伸びになっている。

一般書(児童書をふくむ)は、1,235,700,000ドル、408,160,000部の売上げで、金額は21%、部数は20%の伸びである。これには児童書のペーパーバックの好調な伸びが大きく寄与している。その他の分野の金額と部数の伸びを%で示せば次の通り：宗教書12.3%、4.9%；専門書9.3%、1.2%；ブッククラブ6.4%、-5.6%；通信販売15.8%、12.4%；大衆市場向ペーパーバック11.7%、-0.5%；大学出版局14.4%、11.4%；小中高校テキスト2.3%、-9%；大学テキスト16.2%、6.4%；予約制参考図書8.7%、2.6%。

なお、これらの数字はあくまでも推定のもので、後ほどセンサス・オブ・マニファクチュアスその他のデータと突き合わせた上でより正確な数字が出されることになっている。

(Publishers Weekly 4月3日号より)

—紀伊國屋書店提供—

社名変更ご案内

次の通り社名変更の通知がありましたのでお手許の会員名簿を訂正願います。住所その他は変更ありません。

(旧) Litton Educational Publishing International,
Tokyo Office

(新) International Thomson Educational Publishing
Inc. Tokyo Office

形成外科学大系・全3巻

Operative Plastic and Reconstructive Surgery (in 3 vols.)

Editors

John N. Barron

MS FRCS(Ed) FRCS(Eng)

Former Director, Plastic and Maxillo-facial Surgery Centre, Odstock Hospital, Salisbury

Former Consultant Plastic Surgeon, Hammersmith Hospital, London

Former Clinical Lecturer, Royal Postgraduate Medical School, University of London

Former Clinical Teacher in Plastic Surgery, University of Southampton

Magdy N. Saad

MB BCH FRCS(Eng) FRCS(Ed)

Consultant Plastic Surgeon, St Mary's Hospital, London,

Wexham Park Hospital, Slough, King Edward VII Hospital, Windsor,

Heatherwood Hospital, Ascot and Hillingdon Hospital, Uxbridge

本書は、形成外科学の全ての領域を完全に網羅し、執筆陣は63名の世界的な権威からなっています。

全3巻・1,398ページから成り、第1巻と第2巻は、全般的な形成外科の手術手技について、第3巻は、手の外科について述べています。

形成外科学は、特に進歩が早くその習得には、多くの経験を必要とします。本書は、統一のとれた、美事なシューマと、簡潔にして要を得た説明から成り、多忙な医師にとって絶大な助手になることでしょう。

なお、本書は英国王室の特別の許可のもとに、レオナルド・ダ・ヴィンチの人体図を各章ごとに挿入しています。各図は、編著が、形成外科医の興味ある対象となる様、十分吟味されており、豪華な装幀とあいまって、永く愛蔵される様、心のこもった本造りがなされています。

Vol. 1 : 478 pages/1,226 illus.

Vol. 2 : 496 pages/717 illus.

Vol. 3 : 424 pages/669 illus.

Vol. 1, 2 (分冊不可) ¥57,600

Vol. 3 (The Hand) ¥21,600

全3巻・セット ¥79,200

Churchill Livingstone 日本総代理店 南江堂洋書部

昭和56年6月 通巻第170号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎ 371-5329